

雇用状況が急速に悪化

市は47人臨時職員の採用や修繕工事

党地区委員会事務局に設置された雇用生活対策本部の看板



こうしたなか、党地区委員会と釧路市議団は、市に対して臨時職員の雇用など、緊急の雇用・生活対策に取り組みよう繰り返し求めてきました。また、釧路連や建交労なども、ハローワーク前でアンケート活動に取り組み（職安前宣伝には松永としお党地区雇用対策本部事務局長も参加）、釧路連、民商なども相次いで、緊急雇用・景気対策を求める要望書を提出しました。



求職者がひっきりなしに訪れるハローワーク

定額給付金を盛り込んだ第2次補正予算が成立しましたが、肝心の雇用対策はわずか千六百億円、中小企業支援も十分です。それなのに、マネーゲームに狂奔して損失を抱えた大銀行へは公的資金投入と保証枠の拡大、あいも変わらず大企業優遇ぶりです。いま日本共産党は、全国で派遣切り・解雇に反対し、雇用の確保、国民生活を守る運動を全力ですすめています。

釧路市の臨時職員採用計画（20年度3月末まで）

事業内容	採用人員	事業費(千円)	採用期間
1 小学校の通学路の安全確保のため歩道氷割り、除排雪、用務員の補助	28	6,351	2月中旬～3/31
2 末広地区等の空き店舗調査	2	422	2月中旬～3/16(25)
3 文学資料の整理・分類など	2	304	3/1～3/31
4 図書館の開架書庫の整備・修理など	5	933	2月中旬～3/31
5 議会関係の保存文書のデータ化	10	5,088	2月中旬～3/31
合計	47		

臨時職員の求人ハローワークに出しました。

5は委託業者の雇用募集締め切り2月9日予定

日給5,450円

「釧路の雇用が悪いのは今に始まったことではない。長く続けられる雇用対策に取り組みたい」と緊急対策には消極的だった蝦名市長も、こうした取り組みに動かされ、47人の臨時職員を採用すること、景気対策として国の補助を活用して緊急の修繕事業を進めることを決めました。しかし、この対策は求職者4千7百人と比べると微々たるものです。引き続き、4月以降の実施も含めて拡充を求めています。



党国會議員団道事務所長 宮内 聡



党地区雇用対策本部事務局長 松永としお



これらの修繕事業は、2月から春先にかけての市内の中小業者の貴重なつながりの仕事になります。

国の「地域活性化・生活対策臨時交付金」を活用した補修事業など

事業項目	事業の詳細	事業費(千円)
子育て・教育環境整備	児童センター・保育園・小中学校改修、学校遊具修繕、高等看学整備等	116,403
建物耐震化	釧路小学校耐震度調査、音別幼稚園耐震化	14,600
福祉施設整備	老人福祉センター・高齢者生きがい交流プラザ・身障センター改修等	34,427
コミュニティ活動施設整備	コミセン・地区会館改修等	58,470
農林水産関連施設整備	農業用水施設・農業集落施設改修・千代の浦マリパーク遊具設置、林業関連施設整備	26,446
港湾関連施設整備	港湾施設整備、物揚場車止め設置、臨港道路舗装、照明灯補修、臨海公園・幸町緑地遊具補修	26,450
社会教育・スポーツ施設整備	図書館・まなぼと・アイスアリーナ・温水プール・テニスコート改修	39,129
安心安全な暮らし実現	災害・救急用資材整備、消防関連施設整備、新型インフルエンザ対策等	32,679
道路関連施設整備	街路灯の省エネ化、舗装・排水施設・跨線橋階段改修等	132,500
公園関連施設整備	大規模運動公園植樹、公園遊具補修等	19,559
住環境整備	公営住宅改修	70,000
観光施設整備	阿寒湖畔スキー場施設整備等	19,750
地域経済活性化	観光影響測定調査、港利用整備促進調査、公共施設補修および解体等	82,587
合計		673,000